



2024年2月13日

各位

会社名 株式会社 i s p a c e  
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史  
(コード番号: 9348 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平  
(TEL. 03-6277-6451)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、主にミッション3での原価発生が遅れに伴い、2023年9月28日に修正した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想を修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。尚、原価回収基準という会計処理上、会計年度で区切られる業績予想においては再度修正することに至りましたが、ミッション3の開発自体は順調に進捗しており、開発スケジュール自体への影響は軽微且つミッション3の総契約金額自体にも従前ご公表しているものからの減額はございません。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
今回発表予想（A）	2,370	△5,906	△7,144	△3,348	△41.40
前回発表予想（B）	3,050	△7,182	△8,297	△4,504	△56.19
増減額（A－B）	△680	+1,276	+1,153	+1,156	-
増減率（％）	△22.3%	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	989	△11,023	△11,378	△11,398	△211.47

#### 2. 修正の理由

主にミッション3及びミッション2の原価発生の上記に当初計画比で遅れ/減少が生じたことに伴い、原価回収基準による会計処理に基づき、計上される売上高においても当初計画比で遅れが発生し、本年度に計上可能な売上高が当初の想定を下回る見通しとなりました。特に影響が大きいミッション3における原価発生が遅延理由は、当社米国子会社で開発中のランダーに使用する太陽光パネルの納品が数か月遅れることによるものです。当該納品時期の後ろ倒しに伴い、原価回収基準という会計処理上、本年度で計上できる原価（売上高）に変更が生じたため今期の通期業績予想を修正しております。但し、ミッション3の開発スケジュール自体への影響は軽微であ

り、またミッション3の総契約金額自体も従前公表しているものからの減額はございません。

詳細については、本日開示の「2024年3月期Q3 決算説明資料」の財務ハイライトセクションにて、当社の会計基準や今後の見通し等を含め説明しておりますので、併せてご参照ください。

(注1) 上記の予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により、実際の数値は上記予想と異なる可能性があります。

(注2) 原価回収基準とは、履行義務を充足する際に発生する費用のうち、回収することが見込まれる費用の金額で収益を認識する方法をいいます。当社では監査法人との協議の基、ミッション3迄の期間は原価回収基準を採用することとしております。ミッション完了前の段階においては、開発に伴い発生した原価と同等の金額を売上として計上し、ミッション完了時にミッションの総契約金額から、それまでに計上した売上を除いた金額を完了時の売上として、一括にて計上いたします。そのため、事業進捗にかかわらず、開発の進捗によって売上が当初予想から前後する可能性がございます。また、ミッション4以降、売上の計上基準が変更となる可能性がございます。

以上